

国語科学習指導案

指導者 遠藤 由美子

1 日時 令和元年10月8日(火) 6校時

2 学級 3年1組 男子16名 女子15名 合計31名 東校舎2階3年1組教室

3 主題 単元名「論旨を捉えて」～対象を評価しながら、自分の考えを広げ、深める～
中心学習材 書く「説得力のある文章を書こう」批評文を書く(光村図書「国語3」)

4 主題について

この単元では、中学校3年生の生徒がこれから活動していく社会へ進むにあたって、社会の中に隠された問題の真実を見抜いたり(「作られた「物語」を超えて」)、社会の中で遭遇した問題を解決するために話し合いのしかたを学習したり(「話し合って提案をまとめよう」)、さらに社会生活の中で関心のある事柄などに注意を向けて批評する(「説得力のある文章を書こう」中心教材)教材で構成されている。

生徒は、「評価しながら聞く」という単元では意見を評価する方法と自分の意見と比べることを学び、「社会との関わりを伝えよう」では自分と社会との関わりに注目して社会とかかわった体験についてスピーチを行った。また、「批評の言葉をためる」では批判から批評へと高める過程並びに、批評するために言葉を大切にしていくことを学んだ。「社会との関わりを伝えよう」で行ったスピーチにおいては、多くの生徒が社会に関わりを持っているいろいろな活動に携わり、その中で人の生き方について感じたり、考えたり、学んだりしながら生活していることがわかった。しかし、社会にかかわりのある事柄に関して批評の目で見たり考えたりする学習とはどのようなものなのか、今回の学習では社会とかかわりのある事柄について批評の目で見、分析し、体験を入れて書いて表現するという学習を進めていきたい。

そこで本単元では、「観点を立てて分析する」教材で使用する広告を取り上げ、ポスターを観点に沿って分析しながら、どの観点のどのような部分に注目するのか、自分の経験や体験の活かし方、構成に工夫して、一人一人がより説得力を持った広告の批評文を書くことを目標として取り組んでいきたい。

5 本時の達成目標

批評文の中の観点の取り上げ方、論理の展開の仕方、分の体験に注目してお互いの批評文を推敲し、批評文を完成する。

6 評価場面での生徒の記述例

【書く能力】

おおむね満足 B	十分満足 A
<ul style="list-style-type: none">・批評文の中で、広告の訴え取り上げ、訴えが伝わる部分に着目して広告を分析して批評文を推敲している。・批評文の訴えが伝わるように論理の展開に工夫しながら推敲して批評文を書いている。	<ul style="list-style-type: none">・批評文の中で広告の訴えを明確にし、訴えが伝わるように広告を分析し、体験や引用を付け加えて批評文を推敲している。・批評文の訴えが伝わり、読み手を説得できるように論理の展開を考えて述べる順序を変えたりして推敲を繰り返して書いている。

7 振り返りの場面での生徒の記述例

最初は、全体的にポスターを見ていたが、観点の分析の仕方や、論理の展開、自分の体験を考え直したりすることで、ポスターに込められた想いをさらにわかりやすく書きなおすことができた。

8 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点 評価の観点・方法 ◆教材・教具等
導入 5分	1 単元のねらいを確認する。 2 前時に学習した内容を確認する。 【主体的】批評文の下書きを、重点6項目に沿って友達の助言も参考に完成させることを示す。 3 学習課題を把握し、流れをつかむ。	1 説得力のある批評文として、観点の取り上げ方、論理の展開について推敲し、批評文を仕上げること。 2 構成の重点6項目を確認する。 3 推敲して、批評文を仕上げることを確認する。
観点・論理の展開に注目し、推敲して批評文を仕上げよう。		
展開 40分	第1ステップ 4 個人で観点の分析や論理の展開、体験の取り入れ方について気づいたことを書く。 第2ステップ 5 隣同士で、批評文と推敲のシートを見比べ、気づいたことを書き、気付いたことを説明する。 【対話】批評文と推敲を見比べ、気付いたことを説明し合う。 ラストステップ 6 隣の人からの助言を踏まえて、再度批評文を推敲しなおす（個人）。	4 自分で、観点の分析、構成、体験について、推敲の仕方によって推敲する。 ◆学習シート 5 批評文の内容と推敲を推敲の6項目に沿って見比べる。 ◆学習シート 6 自分の考えと助言を見比べ、選択する観点を明確にして推敲する。 6 【書く能力】 批評文の効果的な書き方について、観点の分析の仕方、論理の展開や体験の取り入れ方を明確にしながらか文章にまとめることができる。〈学習シート〉 A：最初に書いた批評文を基本に、自分の推敲と隣の人からの助言を参考に、推敲の重点に従って訴えが効果的に伝わるように批評文を書き直している。 C：隣の人からの助言を参考に、観点の見方、構成の並べ替え、他の体験を考え、自分の批評文に加えようとしている。 7 書きながら、書いたものを振り返り、つながりに注意する。
終末 5分	8 学習活動を振り返る（個人）。	8 【リフレクション】本時の学習で気付いたことや他の人の意見から参考になったこと、その他新たに浮かんだ疑問点や今後生かせそうなことを振り返らせる。 ◆学習シート

9 指導と評価の計画

3 年 国 語		単元名 「論旨を捉えて」 ～対象を評価しながら、自分の考えを広げる～ (中心学習材名「説得力のある文章を書こう」)	総時間 5時間扱い
学習指導要領の指導事項		単元の見どころ	
<p>書くこと</p> <p>(ア)目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>(オ)論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見出すこと。</p> <p>言語についての知識・理解・技能</p> <p>1 (ウ) 話や文章の種類とその特徴について理解を深めること。</p> <p>2 (ア) 具体と抽象など情報と情報の関係について理解を深めること。</p>		<p>AC ジャパンの「ねえ、ボクのぶんは…？」のポスターを分析し、自分の経験と比較して世の中についての考えを深める。</p> <p>論理の展開や表現の仕方に工夫して批評文を書き、推敲する中で観点の分析や、論理の展開の工夫、体験の選び方を級友と考えあうことで自分の考えを広げる。</p>	
時	主な学習活動	おおむね満足 (B)	
1	単元の見どころ・流れについての確認。例文を参考に批評文について理解する。	<p>関 批評文について興味関心を持ち、批評文について理解しようとしている。</p> <p>言 批評文と批評文の書き方について理解する。</p>	
2	AC ジャパンの「ねえ、ボクのぶんは…？」のポスターについて観点を立てて分析し、どの観点を使うかまとめる。	<p>書 ポスターについて、絵の構成や描かれている事柄、書かれている言葉などを比較して分析している。</p> <p>言 もし()ではなく()だったら仮定の形で検証する。</p>	
3	体験を付け加え、論理の展開を考え、批評文をまとめる。	<p>書 どの観点を中心にまとめるか決め、自分の考えが明確に伝わるように文章の構成を工夫し、類似の体験を考えている。</p> <p>言 意見、事実、具体的な事例の述べ方に注意して考えている。</p>	
4 (本時)	今までまとめたものを推敲して書き直し、文章にまとめる。	<p>書 前時までに書き上げた内容を推敲の仕方と級友の助言を参考に推敲して書き直している。</p> <p>言 批評をするときの特有な言葉を使ってまとめようとしている。</p>	
5	文章を読み合い、考えを深めたり、広げたりする。	<p>書 批評文を読み合い、観点を立てて分析した部分や論理の展開、体験の内容から自分の考えを深めたり広げたりしている。</p>	